115 學年度第一學期 Eurasia 基金會(from Asia)國際講座

「亞洲共同體：東亞學的構築與變容」系列講次(1)

講題: AI 時代的外語人才培育新典範：從「認識 AI」邁向「共創」

葉淑華

(2026.09.17)

摘要

本學期第一週請到的講師是高雄科技大學的葉淑華教授，葉教授是國內知名的 AI 外語教育專家。葉教授的課程分為以下四個部分：

1.AI 時代的關鍵認知
葉教授分別從（1）AI 是什麼（2）AI 如何改變知識（3）AI 如何改變工作（4）AI 如何完成工作（5）人類能力如何重新排序（6）外語人才如何重新定位等 6 個面向來說明：

第一個認知觀念:AI 不是另一個 App，AI 是一種 General Purpose Technology（通用技術）。AI 不是一項工具，而是整個社會基礎設施（Infrastructure）的改變。

第二個認知觀念:AI 最大的改變不是效率,而是知識取得方式。
以前 不知道=> Google 搜尋=> 自己整理=> 自己理解=> 完成
現在 不知道=> AI=> 直接得到整理好的答案=> 開始思考=> 驗證=> 創造

第三個認知觀念:AI 改變的不是工作,而是工作的方式
AI 會取代老師?AI 不會取代老師(X Replace Human)，AI 取代的是老師每天重複做的事情。(O Replace Routine)

第四個認知觀念:AI 不是回答問題,AI 開始幫你完成工作 AI 開始從 Information 走向 Execution

第五個認知觀念:AI 真正改變的是人類能力排序
外語教育:知識 → 記憶 → 熟練 → 正確使用 → 應用

第六個認知觀念
AI 讓外語價值消失了嗎？沒有。AI 讓「單純語言轉換」的價值下降，卻讓「外語＋專業＋文化＋溝通」的價值提高。

2.AI 外語學習策略

葉教授舉了 6 種學習策略說明，分別請 AI 當老師（Tutor），當同學（Partner），當研究助手（Research Assistant），當翻譯教練，當批判者（Critic），當教練（Coach），善加運用 AI 來學習外語。葉教授也做出結論：AI 不是答案產生器，而是 Learning Partner。

3.AI 創新學習

葉教授首先介紹了近十數年來學習場域的改變：從教室的變化（從傳統的黑板、白板到互動電子白板、虛擬教室元宇宙以及最新的 AI(智慧)黑板）到教學觀，學習觀的改變。並且舉其擔任的日語語法及作文課來說明在課程中導入 AI 的實際成果。比如語法課：善用語法解決日常生活碰到的問題，並利用能力測驗題目進行詳細語法說明。作文課：可以利用 AI 修改作文，並請學生比較修改前和修改後的差異，最後請 AI 給予回饋（Feedback）。

4.結語:人機(AI)共創

葉教授最後舉出 AI 時代外語人才培育的三層架構：從語言能力走向思考、協作與人格養成，提出「人機共駕(共創)」的概念，期許同學們掌握主控權，由自己擔任「主駕」、讓 AI 成為「副駕」，攜手智慧夥伴，開創未來的無限可能。

中文整理

陳順益

115 學年度第一學期 Eurasia 基金會(from Asia)國際講座

「亞洲共同體：東亞學的構築與變容」系列講次(1)

講題：AI 時代における外国語人材育成の新パラダイム―「AI を知る」から「成果を創出する」活用へ―

葉淑華

(2026.09.17)

要旨

今学期第 1 週は、国立高雄科技大学の葉淑華教授を講師に招聘した。台湾国内でも著名な AI 外国語教育の専門家である葉教授は、今回の講義で以下の 4 つの部分に分けて講義してくれた。

1. AI 時代における重要な認識

葉教授は、以下の 6 つの側面から説明した。

（1）AI とは何か

（2）AI は知識をどのように変えるのか

（3）AI は仕事をどのように変えるのか

（4）AI はどのように仕事を遂行するのか

（5）人間の能力の優先順位はどのように変化するのか

（6）外国語人材はどのように再定位されるべきか

第 1 の認識：AI は単なる別のアプリではない。

AI は、一つのアプリケーションではなく、「General Purpose Technology（汎用技術）」である。AI は単なる一つのツールではなく、社会全体の基盤（Infrastructure）そのものを変えるものである。

第 2 の認識：AI が最も大きく変えるのは「効率」ではなく、知識へのアクセス方法である。

以前は、「分からない」→ Google で検索する → 自分で整理する → 自分で理解する → 完成　という流れだった。現在は、「分からない」→ AI を利用する → 整理された回答を直接得る → 考える → 検証する → 創造する　という流れへと変化している。

第 3 の認識：AI が変えるのは「仕事」そのものではなく、「仕事の進め方」である。

「AI は教師に取って代わるのか？」　AI が教師そのものに取って代わるわけではない（×Replace Human）。AI が代替するのは、教師が毎日繰り返し行っている業務である（○Replace Routine）。

第 4 の認識：AI は単に質問に答えるだけではなく、仕事そのものを完成させるようになっている。

AI は、単に Information（情報）を提供する段階から、Execution（実行）へと進み始めている。

第 5 の認識：AI が本当に変えるのは、人間の能力の優先順位である。

外国語教育における従来の能力の流れは、知識 → 記憶 → 熟練 → 正確な使用 → 応用だった。

第 6 の認識：AI によって外国語の価値はなくなるのか。

答えは「否」である。AI によって「単純な言語変換」の価値は低下する一方で、「外国語＋専門知識＋文化＋コミュニケーション」の価値は、むしろ高まっていく。

2. AI を活用した外国語学習の戦略

葉教授は、AI を外国語学習に活用するための 6 つの学習ストラテジーを紹介した。それぞれ、AI を「教師（Tutor）」、「学習パートナー（Partner）」、「研究アシスタント（Research Assistant）」、「翻訳コーチ」、「批判者（Critic）」、「コーチ（Coach）」として活用する方法である。AI をさまざまな役割で効果的に活用することで、より主体的かつ効率的に外国語を学ぶことができる。葉教授は最後に、「AI は答えを生み出すための装置ではなく、学習パートナー（Learning Partner）である」と結論づけた。

3. AI を活用した革新的な学習

葉教授はまず、ここ十数年における学習環境の変化について紹介した（例：教室の環境は、従来の黒板やホワイトボードから、インタラクティブ・ホワイトボード、バーチャル教室、メタバース、そして最新の AI（スマート）黒板へと変化してきた。それに伴い、教育に対する考え方や学習に対する考え方も変化している。

また、葉教授が担当している日本語文法および作文の授業を例に挙げ、授業に AI を導入した実際の成果についても説明された。例えば、文法の授業では、学習した文法を活用して日常生活で遭遇する問題を解決することや、能力試験の問題を用いて、文法について詳しく解説するなどという方法が紹介された。一方、作文の授業では、AI を利用して作文を添削してもらい、学生に添削前と添削後の文章の違いを比較させる。最後に AI からフィードバック（Feedback）を受けるという学習方法が実践されている。

4. まとめ：人間と AI による共創

最後に葉教授は、AI 時代における外国語人材育成のための 3 層構造を示し

た。

それは、単なる言語能力の習得にとどまらず、思考力、協働する力、そして人格形成へと発展していくものである。さらに、「人間と AI の共創」という考え方を提示し、学生一人ひとりが自分自身の「パイロット」となり、AI を「副操縦士コパイロット」として活用することを期待すると述べた。

AI という学習パートナーを上手に活用しながら、自らの力でこれからの道を切り開いていくことが、AI 時代における外国語学習者に求められているのだ。

中国語整理
陳順益
日本語翻訳
CHATGTP
日本語修正
塚本善也